

# 入院基本設計書

日医標準レセプトソフト

ORCA

平成14年6月

(初版)

日本医師会総合政策研究機構

# 目 次

## 基本登録業務

．病棟管理	
病棟（病室）の概要 .....	1
コード体系 .....	2
病棟登録について .....	4
病室登録について .....	9
入院料の加算設定について .....	13

## 日次業務

．入退院登録	
入退院登録の概要 .....	16
入退院登録画面について .....	17
入院登録	
入院取消し	
退院登録	
退院取消し	
転科・転棟・転室	
入院歴の表示について .....	27
入院歴の作成について .....	28
．入院会計について	
入院会計画面について .....	30
カレンダー設定について .....	32
．空床管理について .....	34

## 月次処理

．患者請求処理について .....	37
-------------------	----

基本設計	基本登録業務	作成日 2002/06/01	1
機能仕様書	病棟（病室）管理	更新日 _____	
		版数 1	

・病棟・病室について概要

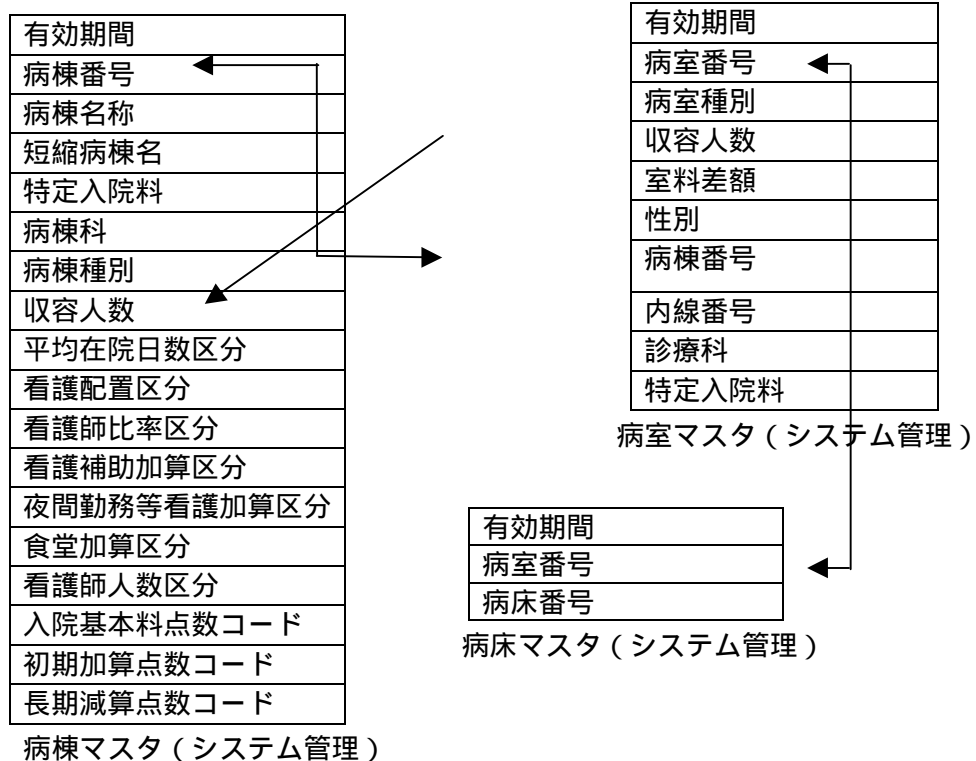
(1) 病棟情報の構成

病棟については、入院患者の入院基本料算定に必要な情報がセットされている

こ  
とと、入院受け付け又は申し込み時の空き病床数を把握する為の情報が必要となる。

入院基本料算定には、その病棟の種類（一般病棟、精神病棟...）をあらゆる区分、平均在院日数、看護師比率などの情報が必要であるため、それらの情報をコード化し病棟マスタに登録することとする。

病棟マスタのイメージは次のようになる（併せて病室マスタとの関連も記載）



・入院基本料の算定例

(病棟種別)	-	(平均在院日数)	-	(看護配置)	-	(看護師比率)
一般病棟		25日以内		2:1以上		70%以上

基本設計	基本登録業務	作成日 2002/06/01	2
機能仕様書	病棟（病室）管理	更新日	
		版数 1	

(2) コード体系

病棟種別

区分	病棟種別名
1	一般病棟
2	精神病棟
3	結核病棟
4	療養病棟
5	障害者施設等
6	専門病棟
7	老人病棟
8	有床診療所
9	有床診療所療養入院料

平均在院日数区分

区分	平均在院日数	日数	特例
1	21日以内	21	25
2	26日以内	26	28
3	28日以内	28	
4	29日以上	29	
5	33日以内	33	
6	36日以内	36	
7	60日以内	60	
8	90日以内	90	

特例はH14年9月30日まで

看護配置区分

区分	看護配置
1	2:1 以上
2	2.5:1 以上
3	3:1 以上
4	3.5:1 以上
5	4:1 以上
6	4:1 未満
7	5:1 以上
8	6:1 以上
9	6:1 未満
10	1人以上
11	5人以上
12	10人以上

看護師比率区分

区分	看護師比率
1	70%以上
2	40%以上 70%未満
3	40%以上
4	20%以上 40%未満
5	20%未満
6	20%以上

基本設計	基本登録業務	作成日 2002/06/01	3
機能仕様書	病棟（病室）管理	更新日 _____	
		版数 1	

看護補助加算区分

区分	看護補助
1	4 : 1 看護補助加算
2	5 : 1 看護補助加算
3	6 : 1 看護補助加算
4	10 : 1 看護補助加算
5	15 : 1 看護補助加算

夜間勤務等看護加算区分

区分	夜間看護加算
1	夜間勤務等看護加算 1
2	夜間勤務等看護加算 2
3	夜間勤務等看護加算 3
4	夜間勤務等看護加算 4
5	夜間勤務等看護加算 5

病室種別

区分	病室
1	一般病室
2	I C U
3	C C U
4	N I C U
5	リハビリ室
6	感染症室
7	ダミー室
8	重症者加算部屋 1
9	重症者加算部屋 2
10	P I C U (母体・胎児集中治療室)
11	G C U (後方病床)
12	無菌室
13	精神隔離病室

基本設計	基本登録業務	作成日 2002/06/01	4
機能仕様書	病棟（病室）管理	更新日	
		版数 1	

(3) 画面からの病棟登録

病棟番号・病棟名称・病棟科名・病棟種別・入院基本料・入院基本点数・収容人数・看護配置・看護師比率・平均在院日数・看護補助加算・看護補助配置・夜間勤務等看護加算・食堂加算・看護師3人以上・保育士1人以上・有効開始日・有効終了日

入力欄

病棟番号  病棟名称  短縮病棟  特定入院料

病棟科名  病棟種別  平均在院日数

看護配置区分  看護師比率  看護補助配置

看護補助加算  夜間勤務等看護加算

                  食堂加算           看護師3人以上   保育士1人以上

有効期間 開始日  ~ 終了日  継続区分

入院基本料  入院基本点数

棟歴表示欄

新規で病棟を入力する画面イメージ

機能説明

画面操作のイメージとしては患者病名の登録画面と同様の操作方法とする。  
ファンクションボタンによる「追加」「変更」「削除」が行え、全ての入力項目をセット時に入院基本料の点数と該当コードを表示することが可能となる。

収容人数については表示項目であり、病室マスタ、病床マスタからの集計表示を行う。  
画面上部の一覧表示欄には、システム日付時に有効な病棟マスタを表示することとし、過去の病棟情報を参照する場合はシステム日付の変更、又は画面上に設けた『棟歴』のボタンを押下することで過去の病棟情報をポップアップで表示できることとする。  
過去の病棟情報を更新することは行うべきではないためポップアップ画面での修正はできない仕様とするが、システム日付を変更して表示を行った場合の制約は検討事項とする。

基本設計	基本登録業務	作成日 2002/06/01	5
機能仕様書	病棟（病室）管理	更新日 _____	
		版数 1	

#### 病棟登録の基本操作

病棟番号を入力（英数入力）

病棟名称、短縮病棟名を入力

特定入院料を算定する場合は選択入力

病棟科名を選択入力

病棟種別を選択入力

平均在院日数を選択入力

看護配置を選択入力

看護師比率を選択入力

看護補助配置を選択入力

看護補助加算を選択入力

夜間勤務等看護加算を選択入力

食堂加算を算定する場合チェックボタンON

看護師3人以上の場合チェックボタンON（有床診療所入院基本料1の場合のみ  
入力可）

保育士1人以上の場合はチェックボタンON（小児入院医療管理料のみ）

開始日、終了日を入力

病棟の継続・廃止を選択入力

病棟種別、平均在院日数、看護配置、看護師率により該当する入院基本料が表示  
される。

病棟種別を入力後、入院基本料から直接基本料の選択もできる（各項目が表示）  
追加ボタンで登録

#### 病棟登録の訂正

有効期限はそのまま訂正ができる。

病棟番号の入力又は病棟をクリック（登録内容の表示）

各項目を変更

変更ボタンで登録

<b>基本設計</b>	<b>基本登録業務</b>	作成日 <u>2002/06/01</u>	6
機能仕様書	病棟（病室）管理	更新日 _____	
		版 数 <u>1</u>	

#### 病棟登録の変更

有効期限を設定し施設基準の変更等の登録ができる

病棟番号の入力又は病棟をクリック（登録内容の表示）

終了日の入力

変更ボタンで登録

病棟番号の入力又は病棟をクリック

各項目を変更

開始日を入力

終了日を入力

追加ボタンで登録

#### 病棟の削除

病棟番号を入力又は病棟をクリック

削除ボタン

確認メッセージの表示

OK で削除

病棟に病室が登録されている場合は削除不可とする。

病室が登録されている場合は削除できない旨のメッセージを表示する。

病室が登録されていれば、先に病室を削除すること。



基本設計	基本登録業務	作成日	2002/06/01	7
機能仕様書	病棟（病室）管理	更新日	_____	
		版数	1	

#### 病棟の情報変更について補足

病棟の基本情報に変更になった時、入院基本料が変更になる場合がある。  
過去の入院料を算定する必要が発生した時に該当期間の病棟情報が必要となる。  
病棟登録内容に変更が発生した場合は有効期間を区切って情報を入力することで履歴管理を可能とする。

#### 初期の病棟登録状態

入院基本料	一般病棟 1 群入院基本料 2
看護配置	: 2.5 : 1 以上
有効期間	平成 15 年 4 月 1 日
	~
	期限なし



#### 看護配置の変更により入院基本料が変更（平成 16 年 4 月より）

入院基本料	一般病棟 1 群入院基本料 1
看護配置	: 2 : 1 以上
有効期間	平成 16 年 4 月 1 日
	~
	期限なし

この場合、データベースへの記録はひとつの病棟について 2 件のレコードが作成された状態となる。

初期の登録レコードには有効期間の終了日に平成 16 年 3 月 31 日を記録して更新することとする。

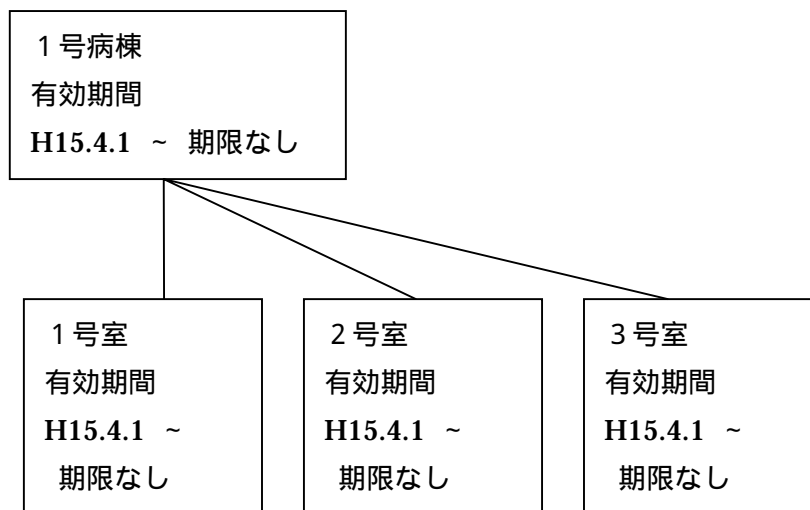
病棟の履歴については、病棟登録画面の棟歴情報のリスト表示で確認することを可能とする。

基本設計	基本登録業務	作成日	2002/06/01	8
機能仕様書	病棟（病室）管理	更新日	_____	
		版数	1	

### 病棟の廃止方法について

病棟を廃止する場合は、有効期間の終了日に廃止する日を入力して更新を行う仕様とする。

終了日を入力したことによる病棟の廃止か基本情報の変更かを識別する為に継続または廃止の区分入力を可能とすること。



上記の状態では病棟を廃止にした場合は自動的に各病室の有効期間終了日に病棟の終了日と同じ日付をセットし更新すること。

継続の場合は病室の情報は一切の変更を行わない。

基本設計	基本登録業務	作成日	2002/06/01	9
機能仕様書	病棟（病室）管理	更新日	_____	
		版数	1	

(4) 画面からの病室登録

病室登録画面

病棟番号  病棟名称

病室番号・病室種別・特定入院料・収容人数・室料差額・性別特定・内線番号・診療科・有効開始日・有効終了日

このエリアに上記項目を複数病室分一覧表示

入力欄

病室番号  病室種別

特定入院料  収容人数  室料差額

性別特定  内線番号  診療科

有効期間 開始日  ~ 終了日

病室歴表示欄

新規で病室を入力する画面イメージ

機能説明

画面操作のイメージとしては患者病名の登録画面と同様の操作方法とする。

ファンクションボタンによる「追加」「変更」「削除」が行え、全ての入力項目をセット時に入院基本料の点数と該当コードを表示することが可能となる。

初期表示は病棟登録画面で選択された棟に存在する病室について一覧表示を行う。

画面上部の一覧表示欄には、システム日付時に有効な病室マスタを表示することとし、過去の病室情報を参照する場合はシステム日付の変更、又は画面上に設けた『室歴』のボタンを押下することで過去の病室情報をポップアップで表示できることとする。

過去の病室情報を更新することは行うべきではないためポップアップ画面での修正はできない仕様とするが、システム日付を変更して表示を行った場合の制約は検討事項とする。

基本設計	基本登録業務	作成日	2002/06/01	10
機能仕様書	病棟（病室）管理	更新日	_____	
		版数	1	

#### 病室登録の基本操作

- 病棟名称を選択入力（入院基本料が表示される）
- 病棟画面から遷移した場合、この操作は不要
- 病室番号を入力
- 病室種別を選択入力
- 特定入院料を選択入力（病室に特定入院料を設定する場合）
- 収容人数を入力
- 室料差額を選択入力（病室に差額部屋代を設定する場合）
- 性別特定を選択入力
- 内線番号を入力
- 診療科を選択入力
- 開始日・終了日を入力
- 追加ボタンで登録

#### 病室登録の訂正

- 有効期限はそのままで登録内容の訂正が行える。
- 病棟名称を選択入力（登録済みの病室一覧の表示）
- 選択番号の入力又は一覧表の病室をクリック（登録内容の表示）
- 各項目の変更
- 変更ボタンで登録
  - 訂正入力の場合、病室の履歴情報は作成せずデータの上書き更新となるので
  - 入院料算定済みの患者に影響がある場合は変更不可とする

#### 病室登録の変更

- 病室の変更等に有効期限を設定し、変更が行える。
- 病棟名称を選択入力（登録済みの病室一覧の表示）
- 選択番号の入力又は一覧表の病室をクリック
- 終了日を入力
- 変更ボタンで登録
- 選択番号を入力
- 各項目を変更
- 開始日を入力
- 終了日を入力

追加ボタンで登録

基本設計	基本登録業務	作成日 2002/06/01	1 1
機能仕様書	病棟（病室）管理	更新日 _____	
		版 数 1	

病室の削除

病棟名称を選択入力（病室の一覧表示）

選択番号を入力又は病室をクリック

削除ボタン

メッセージの表示

OK で削除

基本設計	基本登録業務	作成日	2002/06/01	1 2
機能仕様書	病棟（病室）管理	更新日	_____	
		版 数	1	

(5) 医療機関情報としてセットする項目

入院料算定を行う為、医療機関によっては減算対象となる場合がありますその情報をシステム管理マスタの医療機関情報に設定が行えるようにする。この設定にも有効期間は必要となる。

減 算 対 象	
入院診療計画未実施減算（入院中 1 回	1）
院内感染防止対策未実施減算（1日につき	
医療安全管理体制未整備減算（1日につき	2）
褥創傷対策未実施減算（1日につき	2）

1 については患者単位とし、会計画面で入力する

2 についてはH 1 4 年 1 0 月 1 日から

基本設計	基本登録業務	作成日	2002/06/01	13
機能仕様書	病棟（病室）管理	更新日	_____	
		版数	1	

(6) 入院料の加算設定について

入院患者の登録時に入院基本料に加算する入院料加算を円滑に処理するため病棟・病室単位での加算コードの登録を行えることとする。

病棟単位、病棟種別単位、病室単位それぞれに算定可能な入院料加算を設定画面に初期表示し、有効期間の入力により入院登録時の会計マスタへの登録を容易にすることが可能となる。

入院料加算設定画面（医療機関用）

病棟登録画面                      入院料加算設定画面（病棟用）

病室登録画面                      入院料加算設定画面（病室用）

病棟名称	1号病棟	病棟種別	精神病棟
入院料加算名称	有効期間		
難病等特別入院診療加算	H14.4.1 ~ 99999999		
特殊疾患入院施設加算	H14.4.1 ~ 99999999		
児童・思春期精神科入院	H14.4.1 ~ 99999999		
医療管理料			
精神科応急入院施設管理	H14.4.1 ~ 99999999		
加算			

入院料加算設定画面（病棟用）

表示内容は精神病棟を例としている

基本設計	基本登録業務	作成日 2002/06/01	14
機能仕様書	病棟（病室）管理	更新日 _____	
		版数 1	

### 入院料加算の表示内容

医療機関、病棟、病室それぞれの入院料加算の画面を表示する場合は算定可能な加算を初期表示し入力を容易に行えることとする。

### 初期表示の条件

#### 医療機関設定用画面

医療機関用の加算設定画面ではシステム管理マスタに設定された施設基準を基にして算定可能な加算を表示することとする。

#### 病棟設定用画面

病棟の設定画面においては施設基準に加え病棟種別、入院基本料、特定入院料の情報から表示をおこなうこととする。

#### 病室設定用画面

病室の設定画面においては施設基準に加えて病棟情報、病室に設定されている情報から表示をおこなうこととする。

入院基本料等加算	病院全体を対象に自動算定するもの
A200	入院時医学管理料
A201	紹介外来加算 1
	"          2
	紹介外来特別加算
A202	急性期入院加算
A203	急性期特定入院加算
A204	地域支援病院入院診療加算 1
	"                  2
A207	診療録管理体制加算
A208	乳幼児加算・幼児加算
A218	地域加算
A300	精神科病棟入院時医学管理料
	(180日超・選定療養費患者負担)





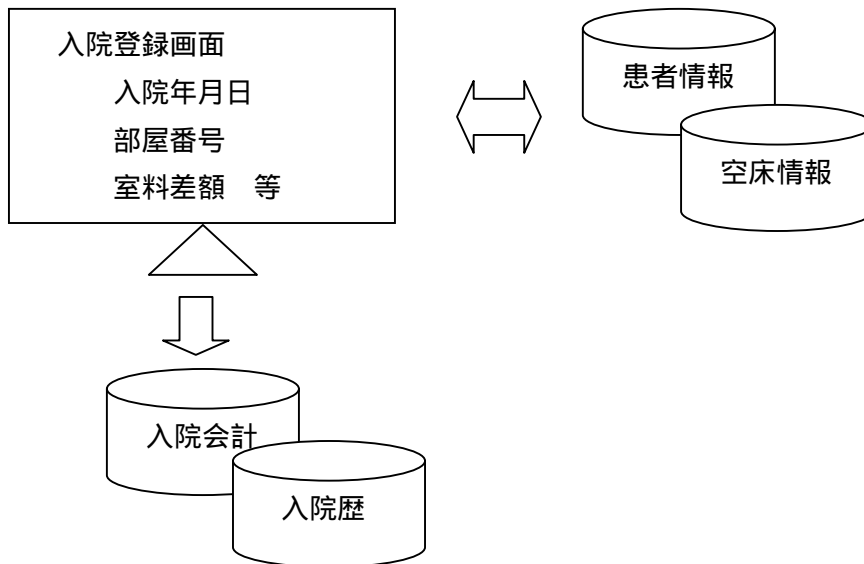
カレンダー・会計入力のもの	
A205	救急医療管理加算・乳幼児救急医療管理加算 1、救急医療管理加算 2、乳幼児救急医療管理加算（1の入力により自動加算）
A206	在宅患者応急入院診療加算
A210	難病等特別入院診療加算 2、二類感染症患者入院診療加算
A212	超重症児（者）準重症児（者）入院診療加算 1、超重症児（者）入院診療加算 2、準超重症児（者）入院診療加算
A216	特別看護加算・特別看護長時間加算 1、特別看護加算 2、特別看護長時間加算
A217	特別看護補助・特別看護補助長時間加算 1、特別看護補助加算 2、特別看護補助長時間加算
A220	HIV 感染患者療養環境特別加算
A221-2	小児療養環境特別加算
A226	重症皮膚潰瘍管理加算
A226-2	緩和ケア診療加算
A229	精神科隔離室管理加算
A227	精神科措置入院診療加算

基本設計	日次業務	作成日	2002/06/01	16
		更新日	_____	
		版数	1	

機能仕様書	入退院登録		
-------	-------	--	--

・ 入退院登録の概要

- ・ 入院年月日
- ・ 部屋番号
- ・ 室料差額（病室情報より取得）
- ・ 保険組合せ番号
- ・ 担当ドクター
- ・ 特定入院料の区分（救急救命入院料 ～ 老人性痴呆疾患療養病棟入院料）
- ・ 食事療養（特別食、選択食）
- ・ 食事負担（一般、低所得、年金）



入院登録画面で入力された内容は患者情報と入院会計に登録を行う。入院会計の内容はカレンダーイメージの画面により変更登録を可能とする。入院会計から退院時の患者請求額又は定期請求処理を行う。

基本設計	日次業務	作成日 2002/06/01	17
機能仕様書	入退院登録	更新日 _____ 版数 1	

### 入退院登録画面について

患者番号  患者氏名  性別  生年月日

処理区分

病室番号  病棟番号  室料差額  異動日

入院日  入院科  初回

退院日

主治医  担当医   担当医変更日

保険組合せ

特定入院料

前受け金  定期請求  検索時患者表示

入院歴表示欄

番号	初	病棟	病室	入院日	退院日	入院科	主病名	転帰	日数	通算

選択番号

入退院登録画面

### 基本機能の説明

患者の入院登録、退院登録、入院取消し、退院取消し及び転科（転棟・転室）を行う。  
過去の入院履歴が他院分も含めてひとめで参照できることとする。

基本設計	日次業務	作成日	2002/06/01	18
機能仕様書	入退院登録	更新日	_____	
		版数	1	

入退院登録画面 入力項目説明

項目名	入力可否				項目説明
	入院	退院	転科	変更	
患者番号					入院患者の番号入力
処理区分		}			1：入院登録 2：退院登録 3：変更 4：照会 5：入院取消し 6：退院取消し 7：転科 転棟 転室 選択入力
病室番号			×		×
病棟番号		×		×	入力項目 病室番号入力時に確定した場合は自動表示とする
室料差額		×		×	システム管理テーブルの室料差額情報から 選択入力
異動日	×	×		×	システム日付を表示する 変更入力も可能とする
担当医		×			システム管理テーブルの職員情報から 担当医を3人まで選択入力可能
担当医変更日	×	×			担当医が変更になった年月日を入力
入院日		×	×	×	入力項目（デフォルトはシステム日付を表示）
入院科		×		×	システム管理テーブルの診療科目情報から 選択入力
初回		×	×	×	初回入院又は継続入院を選択入力 過去の入院歴が無い場合は自動的に初回入院 を表示する
退院日	×		×	×	入力項目
保険組合せ		×		×	入院患者の負担計算に必要な保険組合せを選 択入力 入院期間中に、入院料に関係ない部分で他の 保険組合せを用いて診療を受けた場合は、診 療入力時に保険を切り替える
特定入院料		×		×	病棟、病室に登録されている特定入院料から 表示を行い、患者の状態による変更を可能と する 特定入院料の取消しも可

：入力可    ×：入力不可

基本設計	日次業務	作成日	2002/06/01	19
機能仕様書	入退院登録	更新日	_____	
		版数	1	

前受け金		×	×	入院時の患者負担金の前納額を入力し患者情報テーブルに記録する
定期請求区分		×	×	定期請求の時期を患者個別で指定する 1：システム管理テーブルに登録した医療機関での定期請求に含めて行う 2：月末時のみ請求処理を行う
検索時患者表示		×	×	入院患者の負担計算に必要な保険組合せを選択入力 入院期間中に、入院料に関係ない部分で他の保険組合せを用いて診療を受けた場合は、診療入力時に保険を切り替える

：入力可    ×：入力不可

表示項目説明

患者氏名	}	患者番号に該当する情報を患者情報テーブルより表示する
性別		
生年月日		
年齢		

その他入院時必要項目

食事区分と食事負担は入院登録時、入院会計テーブルに自動作成とする

食事区分 ..... 食あり、食なし、特別食、選択食

食事負担 ..... 一般、低所得、低所得（長期）、年金

基本設計	日次業務	作成日	2002/06/01	20
機能仕様書	入退院登録	更新日	_____	
		版数	1	

## 各機能の説明

### 入院登録

入院登録を行うと入院会計テーブルと入院歴テーブルへの書き込みを行うと同時に患者情報への情報書き込み及び空床情報テーブルの更新を行う。

### 入院歴の表示について

- 例) 4 / 1 入院 (北病棟 1 号室)  
 4 / 7 退院  
 4 / 10 再入院 (南病棟 3 号室) 同一傷病の為、再入院  
 4 / 13 退院

初	歴番号	病棟	病室	入院日	退院日	科	日数	通算
	002	南病棟	3	H15.4.10	H15.4.13	内科	3	10
	001	北病棟	1	H15.4.1	H15.4.7	内科	7	7

初回入院時 (過去の入院期間と通算しない入院の場合) は「初回」欄に “ ” を表示する

歴番号は 1 回の入院で + 1 ずつ採番し、転室等引き続きの入院時は採番しない。(データ内部では歴番号の枝番で履歴を管理する)

日数欄は 1 回の入院期間に要した日数を表示する。

通算欄には過去 3 か月以内の同一傷病による入院日数の通算日を表示する。

基本設計	日次業務	作成日	2002/06/01	2 1
機能仕様書	入退院登録	更新日	_____	
		版数	1	

### 入院取消し

入院登録済み患者の入院取消しを可能とする。

入院取消しを行うことにより、入院会計・入院歴・収納テーブルから該当期間の情報を抹消することとする。併せて空床の情報も変更する。

ただし入院取消し時に、既に入力済みの会計データを削除したくない場合を想定し画面上の会計削除可否ボタンで処理選択を可能とする。

具体例を以下に記す。

### 入院会計テーブル

入院登録時（10日に入院した場合）

行為内容	1	1 0	2 0	3 0
入院基本料 1		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		
外泊			1	
食事区分		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 2 1 1 1 1 1 1 1		

（食事区分 1：食あり 2：食なし）



会計を削除しないと選択した場合の入院会計テーブル内容

行為内容	1	1 0	2 0	3 0
入院基本料 1				
外泊			1	
食事区分		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 2 1 1 1 1 1 1 1		

取消しによる削除期間

会計を削除すると選択した場合の入院会計テーブル内容

行為内容	1	1 0	2 0	3 0
入院基本料 1				
外泊				
食事区分				

取消しによる削除期間

定期の請求処理が実行済みであり請求データ作成済みの患者については警告メッセージを出力し、取消不可とする。



## 確認事項

過去の入院歴の取消しが必要な機能であるか。

基本設計	日次業務	作成日	2002/06/01	2 2
機能仕様書	入退院登録	更新日	_____	
		版数	1	

### 退院登録

入院中患者の退院登録を可能とする。

未来日での退院登録を可能とする。

未来日での退院登録時はメッセージを表示し注意を促すこと。

退院日より後にかかる診療行為（薬剤の定期処方等）があれば警告メッセージを表示し退院登録不可とする。事前に診療会計画面での期間変更を行うこと。

退院時請求書は主保険単位での発行とする。請求確認画面の表示も保険組合毎の確認表示を可能とする。（画面切り替えによる）

退院時に請求書を作成しない場合を想定して、別画面で請求書兼領収書を発行する機能を準備する（退院時は伝票番号の採番も行わない）

### 画面遷移について

退院時の画面遷移は入院会計画面と診療会計画面へ遷移可能とする。

基本設計	日次業務	作成日 2002/06/01	2 3
機能仕様書	入退院登録	更新日 _____	
		版数 1	

### 退院取消し

退院済み患者の取消しを可能とする。

退院取消しを行った場合、患者は該当病室に引き続き入院中の扱いとするが、退院時に発行した請求書兼領収書（伝票番号）は手動により取消し（注1）を行う。

退院の取消しを行った患者は、定期請求の対象から漏れている可能性があると考えられるので、該当患者について個別での定期請求処理を行う必要がある。

（注1） 請求データの取消しは、入金がある場合は返金処理を行った後に請求取消しによりマイナスの請求データを作成する

### 退院取消しによる会計データの自動修正について

#### 入院会計テーブル

退院登録時（10日に退院した場合）

行為内容	1	1 0	2 0	3 0
入院基本料 1	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			
食事区分	1 1 1 1 1 1 3 3 3 3			

（食事区分 1：食あり 3：特別食）



退院取消し後

行為内容	1	1 0	2 0	3 0
入院基本料 1	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		
食事区分	1 1 1 1 1 1 3 3 3 3	3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3		

取消しによる延長期間

入院会計テーブル内の入院料及びその他の項目は退院日での状態に合わせて自動的にカレンダー内容を作成する。

上記の例では退院時の食事区分が特別食であった為、以降の区分も特別食により自動作成されている。

基本設計	日次業務	作成日 2002/06/01	24
機能仕様書	入退院登録	更新日 _____	
		版数 1	

#### 転科 転棟 転室

入院中患者の「転科、転棟、転室」を可能とする。

処理区分で「転科、転棟、転室」を選択した場合、病棟番号・病室番号・入院科を上書き入力することにより処理を行う。

「転科、転棟、転室」を行った場合は入院歴の作成と入院会計データを変更を行う。画面上に表示されている処理日を基準日としてデータの変更を行うが、処理日を変更しての処理も可能とする。

「転科、転棟、転室」を行う場合の、会計データ変更方法を以下に記す。

入院会計データ
「転科、転棟、転室」による入院料の変更部分のみデータの書き換えを行い、食事区分等に変更しない。(過去に入力された情報を消さない為)
診療会計データ
データ内容の変更は一切行わない

#### 変更

登録内容に変更があった場合、この機能での入力を可能とする。

#### 確認事項

過去履歴の変更は許すか？

変更入力の機能詳細(不可の場合の代替方法についても記載)

画面項目名	内 容
患者番号	変更不可
初回	変更不可 入院日の変更は入院取消し後に再度入院登録を行う
病室番号	変更不可 転室にて行う
病棟番号	変更不可 転棟にて行う
主治医	主治医の変更(修正)を行った場合に入力する
担当医	担当医の変更(修正)を行った場合に入力する
担当医変更日	主治医又は担当医が切り替わった場合に入力を行う 担当医変更日が入力された場合に限り担当医履歴テーブルに情報を保存する
入院日	変更不可

	入院日の変更は入院取消し後に再度入院登録を行う (次頁に続く)
--	------------------------------------

<b>基本設計</b>	日次業務	作成日 <u>2002/06/01</u>	2 5
機能仕様書	入退院登録	更新日 _____	
		版 数 <u>1</u>	

変更入力項目の詳細(前頁の続き)

画面項目名	内 容
入院科	変更不可 転科にて行う
退院日	変更不可 退院日の変更は退院取消し後、再度退院登録を行うこと
初回	変更不可 初回継続区分の変更は、入院取消し後に再度入院登録を行う
特定入院料	変更不可 特定入院料の変更は転科、転棟、転室時に行うか会計画面から行えることとする
室料差額	変更不可 変更を行いたい場合は入院の会計(カレンダー)画面から行うこととする

基本設計	日次業務	作成日 2002/06/01	26
機能仕様書	入退院登録	更新日 _____ 版数 1	

ファンクションボタンによる機能説明について

ボタン名	機能説明
登録	入退院に必要な情報を入力し、当該ファンクションの押下により画面入力内容をテーブルに登録する。
変更	画面より歴番号を入力することで、過去の入院歴を表示変更できる。初回入院を継続の入院に変更する場合もこの機能で行う。入院料の変更に係る変更は入力不可とする。
入院歴作成	長期入院（社会的入院患者）に対応して、通算日数算定用に過去の入院歴を作成する。
入院歴削除	通算日数算出用に作成した他院での入院歴に限り削除可能とする。
入院歴表示	歴番号の入力により、該当入院歴の主病名、副病名及び入院基本料の情報をポップアップ画面により表示する。 この画面は主に病名確認用として用いる。 ポップアップ画面の表示イメージは別途記載
氏名検索	氏名検索画面への遷移
入院会計照会	入院会計画面への遷移
診療会計照会	診療会計画面への遷移

基本設計	日次業務	作成日 2002/06/01	2.7
機能仕様書	入退院登録	更新日 _____	
		版数 1	

### 入院歴の表示

入院歴番号  状態   
 初回継続  担当医   
 病棟   
 病室番号  担当医情報  
 入院日  退院日   
 入院料算定

転科（転棟・転室）履歴

入院科	病棟	病室番号	転入日	転室日	日数	通算

病名情報

主	傷病名	開始日	転帰日	転帰理由

### 入院歴表示画面

#### 入院歴表示欄について

- ・ 入院歴番号 ..... 入院歴の番号を表示
- ・ 状態 ..... 状態（入院中・退院済み・他院入院）を表示
- ・ 病棟 ..... 病棟名称を表示
- ・ 病室 ..... 病室番号を表示
- ・ 入院日 ..... 入院歴の入院年月日を表示
- ・ 退院日 ..... 入院歴の退院年月日を表示
- ・ 入院料算定 ..... 入院料の名称を表示（例 一般病棟 1 群入院基本料 1）

- ・ 転科（転棟・転室）履歴 ..... 1 入院期間中に転科（転棟・転室）があった場合の履歴を表示する。（転入日の昇順で表示）
- ・ 病名欄 ..... 該当入院期間中に病名開始となった病名の情報を全て表示する。主病名については「主」欄に“ ”の表示で識別ができるようにする。（開始日の昇順で表示）

基本設計	日次業務	作成日 2002/06/01	2 8
機能仕様書	入退院登録	更新日 _____	
		版 数 1	

### 入院歴の作成

通算日数算定用に他院での入院履歴を作成する場合に入力します。

初回	<input type="text"/>	入院通算日数	<input type="text"/>
コメント	<input type="text"/>		
入院日	<input type="text"/>		
退院日	<input type="text"/>		
入院科	<input type="text"/>		
病名	<input type="text"/>	<input type="text"/>	転帰 <input type="text"/>
	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
入院基本料	<input type="text"/>		
特定入院料	<input type="text"/>		

### 入院歴作成画面

#### 入院歴作成画面について

- ・ 初回 ..... 初回入院又は継続入院を選択入力
- ・ 入院通算日数 ..... 入院通算日数を入力
- ・ コメント ..... 他院での入院内容をコメント入力  
この欄で入力した内容は入退院登録画面の入院歴病棟欄に出力する
- ・ 入院日 ..... 入院年月日を入力
- ・ 退院日 ..... 退院年月日を入力
- ・ 入院科 ..... 退院時の入院科を入力
- ・ 病名 ..... 退院証明に記載されている病名を入力

- ・ 転帰 ..... 退院証明に記載されている転帰理由を入力
- ・ 入院基本料 ..... 退院証明に記載されている入院基本料種別を選択入力
- ・ 特定入院料..... 退院証明に記載されている特定入院料種別を選択入力

入院基本料と特定入院料は、両方入力することは不可とする。

基本設計	日次業務	作成日 2002/06/01	29
機能仕様書	入退院登録	更新日 _____	
		版数 1	

#### 入退院と空床管理の関係について

入院登録または退院登録を行った時に該当病棟及び病室の空きベッド数を増減して、空床管理の検索画面で参照を行えることとする。これは入院予約、退院予約、転棟、転室の場合も同様に処理を行う。

#### 退院時の請求確認

退院登録を行った場合、退院登録画面より請求確認画面へ遷移し請求内容を確認した後、更新ボタンを押下することにより退院確定となる。

請求確認画面では入院期間中に複数の保険組合せを使用した場合と、計算期間が複数月にまたがる場合は、ページ切り替えボタンによりそれぞれの請求内容を確認できることとする。

退院登録処理で複数の請求データが作成された場合は、それぞれに伝票番号を採番することとする。請求データには計算対象となった入院期間を記録し収納一覧画面での照会を可能にする。





追加変更も行えることとする。

入院基本料等の変更に係る変更は、入院歴作成の入退院登録画面で行うこととなるので、カレンダーでの変更は不可とする。

基本設計	日次業務	作成日 2002/06/01	3 1
機能仕様書	入院会計	更新日 _____	
		版 数 1	

#### 項目説明

- ・ 患者番号 ..... 入院患者の番号を表示
- ・ 患者氏名 ..... 患者番号に該当する患者氏名を表示
- ・ 診療年月 ..... カレンダーに表示している診療年月を表示
- ・ 91日以上 ..... 入院歴の中で直近の初回入院から入院通算日数が91日以上となる年月日を表示
- ・ 180日以上 ..... 91日以上と同様に入院通算日数が180日以上となる年月日を表示
- ・ 入院日 ..... 入院歴から直近の入院日を表示
- ・ 退院日 ..... 現在、入院中の患者であれば表示なし  
退院患者であれば入院歴から直近の退院日を表示

#### カレンダー表示内容（入院会計で基本的に表示する内容）

- 入院料 1：入院中  
入院中に基本料の変更が発生している場合は、複数行での表示とする
- 外泊 1：外泊
- 部屋区分 入院履歴から該当する部屋を特定できるように表示する
- 室料差額 室料差額を区分付けして表示する
- 食事 1：入院事食事療養費（ ） 2：入院事食事療養費（ ）
- 特別食 1：特別食加算あり
- 選択メニュー 1：選択メニュー加算あり
- 入院事食事療養費（ ）の特別管理加算（届）は表示する必要なし  
カレンダーの金額欄にのみ加算されていればよい
- 食堂加算 1：食堂加算あり  
病棟マスタに食堂加算の設定がされている場合に限り表示する）
- 保険組合せ 保険組合せ番号を表示



上記のように手術（胸腔鏡下肺切除術）と酸素吸入手技が追加表示される

基本設計	日次業務	作成日 <u>2002/06/01</u>	3 3
機能仕様書	入院会計	更新日 _____	
		版 数 <u>1</u>	

入院科での表示内容について

入院カレンダーは転科した患者についても、入院科に関係なくひとめで確認が行えるように選択科の欄に“全科表示”をセットし選択可能とする。

診療会計カレンダーも同様

“全科表示”を選択した場合、画面の表示は以下のようになる

例) 初期の入院は内科の一般病棟で登録し、精神科に転科（病棟も変更）した場合の全科表示

番号	名 称	点数	回数	カレンダー部分
1	.900 (内科) 一般病棟入院基本料	1209	20	1 ----- 1
2	.900 (精神科) 療養病棟入院基本料	1138	10	1 ----- 1

基本設計	日次業務	作成日 2002/06/01	3 4
機能仕様書	空床管理	更新日 _____	
		版 数 1	

・ 空床管理について

空床管理に必要な機能

空床管理に最も求められる機能は、空き病床数がひとめでわかり、併せて入院予約の状況や入院中患者の表示なども行えることである。(入院予約画面へも遷移できること。  
また入退院に伴う空床数の増減も連動して行うこととする。

患者 I D
入院履歴番号
病室履歴番号
病棟番号
病室番号
入院科
保険組合せ
入院日
退院日
食事加算
食事負担
入院基本料等加算
室料差額
前受け金
定期請求
初回継続区分
担当ドクター
転出情報
転出区分

有効期間
病棟番号
収容人数
入院人数
空き病床数
予約病床数

病棟マスタ

有効期間
病室番号
予約フラグ
空床フラグ

病室マスタ

転出日  
 転出科  
 転出病棟  
 転出病室

入院歴マスタ

基本設計	日次業務	作成日 2002/06/01	35
機能仕様書	空床管理	更新日 _____	
		版数 1	

. 入院登録時必要項目について

空床画面について

基準日

病棟名	病室	病床数	空床数	4/1	4/2	4/3	4/4	4/5	4/6...
01 東	3F 001	4	2	2	2	2	2	2	2

病床番号

表示病棟

病室	病床数	空床数	4/1	4/2	4/3	4/4	4/5...
001	4	2	02 00/01	02 00/00	02 01/00	02 01/00	02 01/00

患者氏名

1
2
3
4

表示病室

基準日の後  
2週間を表示

上段(空き病床数)  
下段(入院予定数) / (退院予定)

全病室表示  空病室表示

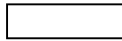
入院料、入院年月日、担当Dr、  
 入院予定年月日、退院予定年月日

Project code name

病棟番号  3F 東  
 病室番号   
 検索日

2002 JMA

病床番号	患者番号	患者氏名



基本設計	日次業務	作成日 <u>2002/06/01</u>	3 6
機能仕様書	空床管理	更新日 _____	
		版 数 <u>1</u>	

#### 機能説明

病棟の空床数を表示する。

病棟内の病室単位の空床数を表示する。

・空床数以外に入院予定数、退院予定数を表示する

病室内の入院患者及び空床を表示する。

#### ファンクションボタンによる機能説明について

全病室表示 ..... 医療機関内の全ての病棟、病室情報を表示する。

空病室表示 ..... 医療機関内で空床のある病棟、病室情報のみを表示する。



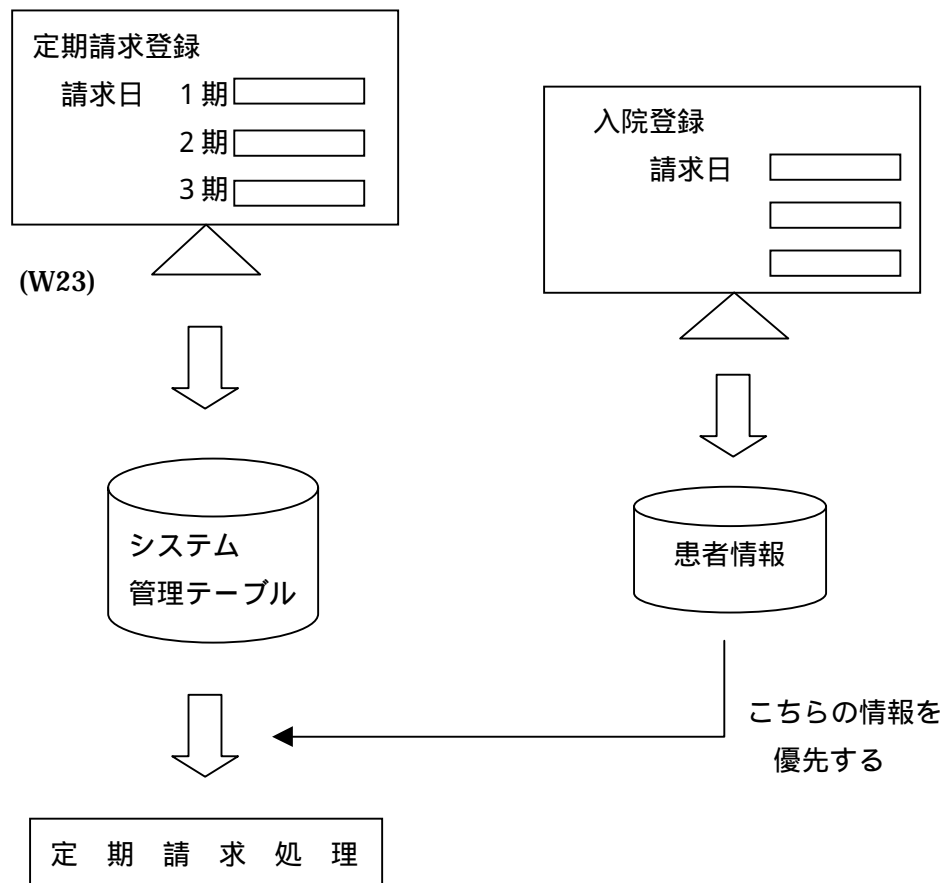


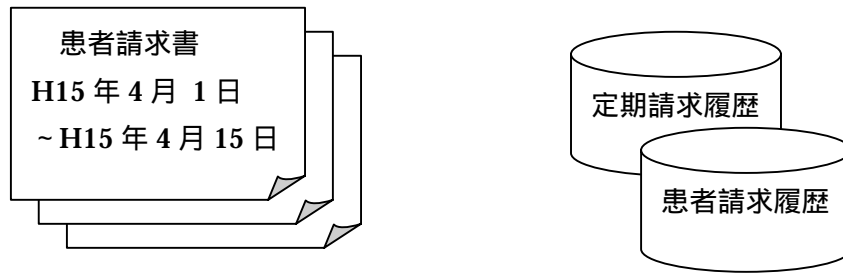
入院期間中に複数の保険組合せを用いた患者は請求データが複数件作成される

基本設計	月次業務	作成日 2002/06/01	3 8
機能仕様書	患者請求	更新日 _____	
		版 数 1	

・定期請求の処理日設定

請求の日は医院において自由に設定できることとするが、患者情報で設定された内容を優先して請求することとする。



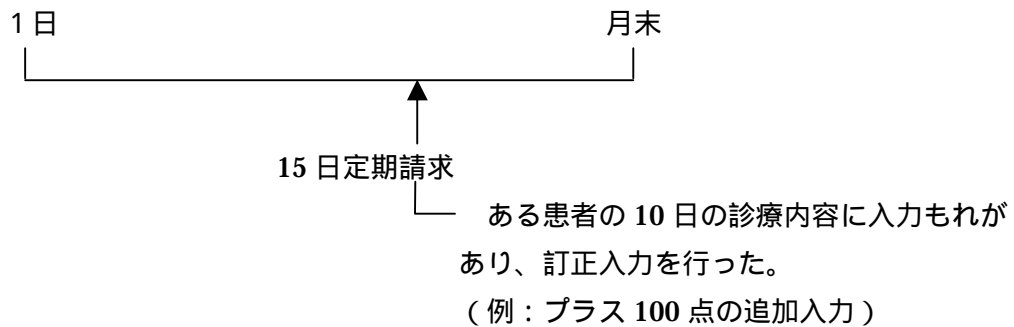


基本設計	月次業務	作成日	2002/06/01	39
機能仕様書	患者請求	更新日	_____	
		版数	1	

・請求内容の変更

請求処理を行った後、請求内容（会計内容）に変更が発生した場合の処理方法

（例）1日 ~ 15日の診療内容に対する変更が16日以降に発生した場合  
 定期の請求は15日と月末を指定しています



請求データは次の作成方法をシステム管理テーブルに設定可能とする

- ・パターン1  
 10日の診療内容を訂正入力した差額分の請求データと、16日～月末までの定期の請求データをそれぞれ作成する。
- ・パターン2  
 1日から15日迄の作成済み請求データを赤伝処理として更新し、新たに1日～15日と16日～月末分の請求データを作成する。
- ・パターン3  
 月末請求分に10日の訂正入力分100点の上乗せを行い請求データを1件作成する。

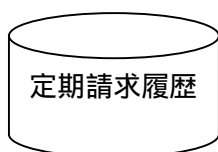
月末迄に退院する場合は、退院会計時に含めて請求する。

月内の診療内容に変更が生じた場合、レセプトへの影響を考慮してその差額を翌月請求の処理には持ち越さないこととする。(該当月で再度請求処理を行う)

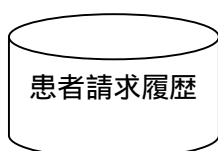
請求処理は処理日と診療の適用期間を患者請求履歴テーブルに記録しておき、後に患者請求の再処理が発生した場合に参照することとする。

基本設計	月次業務	作成日	2002/06/01	40
機能仕様書	患者請求	更新日	_____	
		版数	1	

請求処理時に登録する履歴テーブルについて



処理年月	処理期	件数	再請求区分
H15.4	1	2000	1
H15.4	2	2050	1



患者ID	処理年月	保険組合せ	処理期	請求点数	請求金額
0001	H15.4	001	1	2000	70000
0001	H15.4	002	1	2050	55000
0002	H15.4	001	1	2050	60000

患者請求履歴は、請求データと同様に保険組合せ毎に作成する

基本設計	月次業務	作成日 2002/06/01	4 1
機能仕様書	患者請求	更新日 _____	
		版 数 1	

## 2. 退院患者への請求処理について

### (1) 退院時請求処理

退院する患者への請求については定期の処理で請求済みとなっている期間を除き請求書を作成することとする。

定期の請求処理のタイミングによっては患者の退院登録と日付が前後する場合がありますので注意が必要となる。以下に例を挙げる。

例) 医療機関の請求処理は月に1度(1日~月末分)とする

請求時期は概ね翌月の12日前後としている(毎月レセプト点検後)



1. 10日の退院時に請求データを2件作成する  
前月の1日~月末分と退院処理月の1日~10日迄の請求データ
2. 12日の請求処理では10日に退院登録済みの患者については  
退院時に請求データ作成済みの為、処理の必要なし

例の場合は10日の退院の為、定期処理で前月分の請求データ作成を行わないが、退院日が13日以降であれば前月分の請求は定期処理によることとなる。

基本設計	月次業務	作成日 2002/06/01	4 2
機能仕様書	患者請求	更新日 _____	
		版 数 1	

・ 請求指示画面について

請求処理は医療機関での全患者処理と患者個別指定による処理を可能とする。  
システム管理テーブルにセットされた請求日（請求期間）から、請求書発行対象の患者を抽出する。

\* 定期請求のイメージ

一括作成

請求年月

個別作成



個別作成指示画面

Project code

患者番号	患者氏名	請求年月	作成区分
0 0 0 1	患者 A	H 14 4	該当月全て
0 0 0 2	患者 B	H 14 4	1 期分のみ
0 0 0 3	患者 C	H 14 3	1 期分のみ

患者番号	患者氏名	請求年月	請求区分
------	------	------	------

基本設計	月次業務	作成日 2002/06/01	4 3
機能仕様書	患者請求	更新日 _____	
		版数 1	

請求書兼領収書の印刷指示画面

印刷順指定 (コンボボックスによる指定を行う)

- ・カナ氏名順
- ・患者番号順
- ・請求期間 + カナ氏名順
- ・請求期間 + 患者番号順

作成済み請求件数

請求期間	患者件数	印刷枚数
H 14 . 4 . 1 ~ H 14 . 4 . 15	2 件	2 枚
H 14 . 4 . 16 ~ H 14 . 4 . 30	1 件	1 枚
その他	1 件	1 枚



患者請求書  
H15年4月1日  
~ H15年4月15日

患者請求書  
H15年4月16日  
~ H15年4月30日

患者請求書  
H15年3月1日  
~ H15年3月15日

